

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 18 日作成)

小委員会名	住宅ストック活用小委員会	主 査 名：鈴木雅之 就任年月：2020 年 4 月																									
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：野城 智也 主 査 名：																									
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月																										
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的) 空き家をはじめとする住宅ストックの「活用」に関する我が国の建築社会システムのあり方を検討すること。</p> <p>初年度：地方部等の市場性の高いエリアでの住宅ストックの「活用」に関する既往研究のレビュー及び先進事例等の収集・整理を行う。</p> <p>2 年度：既往研究及び先進事例等のとりまとめを行うとともに、住宅ストックの「活用」に関する建築社会システムのあり方について取組み課題を検討・整理する。また、研究集会資料集を発行し、その成果を対外的に情報発信する。</p>																										
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無																										
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">主査：鈴木雅之</td> <td>千葉大学</td> </tr> <tr> <td>幹事：森田芳朗</td> <td>東京工芸大学</td> </tr> <tr> <td>委員：齊藤広子</td> <td>横浜市立大学</td> </tr> <tr> <td>村上心</td> <td>椙山女学園大学</td> </tr> <tr> <td>長谷川洋</td> <td>国土交通省国土技術政策総合研究所</td> </tr> <tr> <td>高柳英明</td> <td>東京都市大学</td> </tr> <tr> <td>小松尚</td> <td>名古屋大学</td> </tr> <tr> <td>関栄二</td> <td>AGデザイン</td> </tr> <tr> <td>柴田建</td> <td>大分大学</td> </tr> <tr> <td>小杉学</td> <td>明海大学</td> </tr> <tr> <td>藤木亮介</td> <td>明海大学</td> </tr> <tr> <td>橋田竜兵</td> <td>九州大学</td> </tr> <tr> <td>高屋宏</td> <td>市浦ハウジング&プランニング</td> </tr> </table>		主査：鈴木雅之	千葉大学	幹事：森田芳朗	東京工芸大学	委員：齊藤広子	横浜市立大学	村上心	椙山女学園大学	長谷川洋	国土交通省国土技術政策総合研究所	高柳英明	東京都市大学	小松尚	名古屋大学	関栄二	AGデザイン	柴田建	大分大学	小杉学	明海大学	藤木亮介	明海大学	橋田竜兵	九州大学	高屋宏
主査：鈴木雅之	千葉大学																										
幹事：森田芳朗	東京工芸大学																										
委員：齊藤広子	横浜市立大学																										
村上心	椙山女学園大学																										
長谷川洋	国土交通省国土技術政策総合研究所																										
高柳英明	東京都市大学																										
小松尚	名古屋大学																										
関栄二	AGデザイン																										
柴田建	大分大学																										
小杉学	明海大学																										
藤木亮介	明海大学																										
橋田竜兵	九州大学																										
高屋宏	市浦ハウジング&プランニング																										
設置 WG (WG 名：目的)																											
2020 年度予算	65,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：																									

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. (名称) 参加者数 —— 名 —— (資料名) ——
対外的意見表明・パブリックコメント等	1.

<p style="text-align: center;">目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 以下の通り 6 回の委員会を開催し、既往研究、先進事例の収集ができ、初年度の目標は十分達成できた。コロナ禍での zoom による委員会開催であったが、むしろ参加率が高く、活発な議論をすることができた。また、当初の設置目的は、住宅市場の高くないエリアでの住宅ストックの活用の検討であったが、新型コロナウイルス感染症の流行の影響の視点を付け加え、課題をより先鋭化することができた。その結果、上記の通り、次年度の研究集会のテーマを確定することができた。</p> <p>2. 当初予定していた 2 年目の大会の研究集会は見送り、2 年度目の 2022 年 3 月に研究集会を実施する計画に変更した。</p> <p>(委員会開催内容)</p> <p>第 1 回：2020 年 7 月 14 日 18:00～20:00 zoom 開催 初年度のテーマ設定の意見交換 →「コロナをテーマに住宅ストックと社会システムを考える」</p> <p>第 2 回：2020 年 9 月 2 日 18:00～20:00 zoom 開催 1) with コロナ／アフターコロナ時代の住宅に関する意識調査 ／ハイアス・アンド・カンパニー 矢部智仁 2) 英国のエッセンシャルワーカーのための住宅政策／千葉大学 鈴木雅之</p> <p>第 3 回：2020 年 10 月 16 日 18:00～20:00 zoom 開催 1) NewNormal コロナ後のまちと住宅とオフィス／近畿大学 宮部浩幸 2) 山形県上山市の空き家対策とランドバンク／明海大学 小杉学</p> <p>第 4 回：2020 年 11 月 27 日 18:00～20:00 zoom 開催 1) 住宅幸福論 Episode／LIFULL HOME'S 総研 島原万丈 2) 緑ヶ丘団地「ミドラボ」／東京工芸大学 森田芳朗</p> <p>第 5 回：2021 年 1 月 20 日 18:00～20:00 zoom 開催 1) ネット上 C2C の不動産売買／家いちば 藤木哲也 2) 日の里プロジェクト／大分大学 柴田健</p> <p>第 6 回 (予定)：2021 年 3 月 16 日 18:00～20:00 zoom 開催 1) 定額住み放題 多拠点生活プラットフォーム／ADDRESS 佐別当隆志</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>1. 初年度の目的は活動計画通りに進行しており、特に問題点はない。</p>